

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ⑩

橋町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和5年4月1日
事務局：橋公民館 22-3884

今回の案内は

ふたまた
二俣区長 野田正幸さん



ここは、昔は^{あしはら}芦原やった。
昔の六角川は^{ふね}船の^{いき}行き来が
盛んで、二俣にも^{ふなつきば}船着き場
があったとバイ。

クイズ

板橋遺跡は何に使われていた？

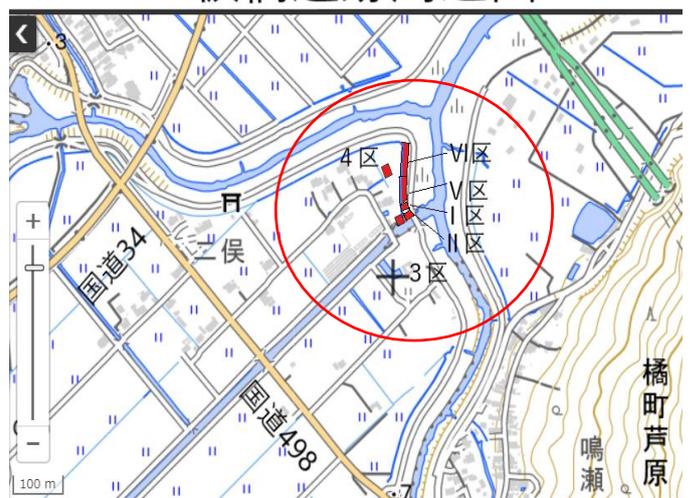
板橋遺跡の場所（赤丸のところ）



★印番号の解説

★①遺跡の場所

板橋遺跡周辺図



調査した跡は、今では樋門と
河川敷になっているよ。

★②鎌倉時代

さいきん きょうかしよ
最近の教科書では 1185 年からが
かまくら
鎌倉時代。この時代に^{えひめけん}愛媛県^{うわじま}宇和島から
たちばなきんなり
橋公業が来たんだ。そして、一族で
あしはら
芦原を^{かいはつ}田んぼに、^き開発して^いい^くんだ。

★③道路状遺構

右写真が調査した時の
写真だよ。白黒で見にく
いけど、たくさんの石が
並んでいるよ。



六角川の^{みなと}港 いたばしいせき 板橋遺跡（二俣）

●遺跡はどこにあ〜と？

はくつちようさ
二俣でも発掘調査があったらしか。板橋樋門
の所に板橋遺跡★①というのがあるバイ。

●いつ頃の遺跡？

かまくらじだい
鎌倉時代★②以降の遺跡らしかね。鎌倉時代と
い^こえ^ば、この「まちの歴史シリーズ」も、昨年
の大河ドラマには大分、お世話になった。

●どんなものが見つかった？

しきいし
敷石をした道路状遺構★③や多数の^{ゆにゆう}輸入
陶磁器・銅銭★④が出土したらしか。

●なんで鎌倉より古い時代のものはないの？

ひようこう
ここは、標高が約 3.5m と大変低いので、
昔は海やった★⑤。今でもよく^{すいがい}水害が発生して
こま
困っと〜とタイ。

●ここはどんな場所★⑥だったの？

しお
有明海の潮は、今でも井出橋まで^{ぎゃくりゆう}逆流しと
〜ね。この潮の^{かんまん}干満を利用した^{すいじようこうつう}水上交通は
古くから利用され、^{ふなつきば}船着場だったらしか。



「たっばくん」

★④たくさんの輸入陶磁器・銅銭

県の報告書では、「長島庄の発展段階にあたり、輸入陶磁器や宋銭の出土（注）などから、水上交通の要衝である地の利を生かした貿易港としての性格を持った重要な遺跡である」と書かれているよ。

注) 宋時代の中国銅銭や白磁・青磁など、中国からの輸入品が道路状遺構から出土していることから、鎌倉時代以後の船着場であったと考えられています。

★⑤・⑥昔の海と板橋遺跡の立地関係

- ・右図は、国土地理院の地質図に古代官道（赤色）と長崎街道（黄色）のルートを加えた図だよ。昔の海だった所は青色だよ。
- ・市の発掘調査報告書では、この「2つの陸の道と、六角側の水運（注）が交わる場所として杵島山の北方が重要だった」と書かれているんだ。



「たっぼくん」

注) 今は陸路を車などで移動するのが一般的ですが、昔は水運がらつうで特に物資の輸送には水路が欠かせないものでした。



クイズの答え 船着場

六角川には、下流の北方町に久津貝の津、志久津、富永津（注）があったんだ（北方町新橋の看板より）。「古代（奈良～平安）においては杵島山の北方に郡衛（役所のこと）が存在したと風土記は云っており、場所は、橋町北部から北方町・江北町付近とする諸説がある（「武雄市史」）」と書かれているよ。上の図を見ると、この辺りは昔から、陸路と水運が交わる重要な場所だったんだね。注) 津とは港のこと

遺跡遺構図の紹介



今回ご紹介した遺跡は『鎌倉時代』のものでした

時代区分	鎌倉時代	南北朝時代	室町時代	戦国時代	江戸時代	明治時代	
新・ふるさと歴史散歩記載項目	鎌倉幕府成立。守護地頭による地方支配、橋氏の入部	元寇襲来と警備、恩賞要求と幕府の弱体化、少弐・大友の探題攻撃	建武の新政 南北朝時代と九州3つ巴の動乱の時代へ	室町幕府成立 応仁の乱、竜造寺の台頭	信長から秀吉へ。竜造寺勢力拡大と島原敗死。文禄・慶長の役	江戸幕府成立 佐賀藩は鍋島体制へ 佐賀本藩へ3部上地2度	戊辰戦争と明治維新、近代化と殖産振興
主な市内遺跡 赤書は橋町	潮見城跡と館跡、潮見・山下・小野原・板橋遺跡等の中世遺跡 源頼朝御教書	潮見川開削と河童誓文石、渋江・中村・中橋氏館跡 塚崎庄が長島庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、渋江 vs 後藤。塚崎庄拡大、武雄社、黒尾社	渋江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、後藤が渋江攻略	潮見讓落城と鉄砲・丹宗堀 後藤が竜造寺配下に 肥前古窯跡と古武雄	三法方郷（橋は本藩・蓮池・後藤領） 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道 南部系窯跡 上野本窯・皿山窯跡 後藤鍋島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱	上野新・形右衛門・鳴瀬窯跡、 櫛崎炭鉱 鉄道開通